平成26年度　学校評価実施報告書（中間報告）

学校名（　　京都市立北野中学校　　）

1　平成26年度　重点評価項目

1. 学力向上を目指す指導の工夫改善と確実な進路保障　2. テスト結果の分析などによる学力実態の把握とその活用　3. LD等支援の必要な生徒への指導の充実
4. 読書活動の推進　5. 生徒の「命を守り，育む」教育の推進　6. 安全で潤いのある教育環境の整備　7. 生徒のキャリア発達の支援
8. 小中9年間を見通した取り組みを計画的に推進　9. つけたい力を明確にした「言語活動」　10. 自律心と責任感の育成を目指した「協働活動」

2　1回目評価

・重点評価項目について評価・改善していくための個別評価項目の設定
・各項目にねらいを定めた取組の計画・実施
・取組結果を検証するためのアンケート項目や各種指標の設定

・アンケート実施結果，その他指標の結果について整理

自己評価：評価日　平成26年10月3日　評価者・組織　学校評価委員会

学校関係者評価：評価日　平成26年10月9日　評価者（いずれかに〇）　学校運営協議会　学校評議員

	分野	評価項目	自校の取組	アンケート項目・各種指標	アンケート結果・各種指標結果		分析（成果と課題）	自己評価に対する改善策		学校関係者評価による意見	学校運営協議会・学校評議員による改善に向けた支援策
1	確かな学力	読書活動の推進	朝読書の確実な実施 図書館利用の推進	生徒アンケート 読書の時間 図書館の利用回数	図書館の利用回数に比例し，読書時間も増加している。	⇒	・全国学力調査，確認プログラムとも国語の学力が高い。 読書活動との関連は否定できない。 ・全国学力調査，確認プログラムにおいても確実に数値が向上してきている。 ・選択式の問題から記述式の問題が増えた。	・読書に関する関心は高まっているが，本の質，内容を考えなければならない。 ・全体だけを観るのではなく，取り残されている生徒の学力保障に焦点をあてていく。 ・記述式だけの論点ではなく，生徒の言語活動が高ま	⇒	・落ち着いた状況で学習に取り組めている。 ・学力の向上は大変よろこばしいことである。	・土曜学習に地域住民の参加を考えてはどうでしょうか。
		テスト結果の分析による実態把握とその活用	学力分析，評価評定の研修会を定期的に開催	全国学力調査，確認プログラムの結果	全国学力調査において，全国平均を国語は5%，数学は3%上回っ						
		つけたい力を明確にした言語活動	上記の研修を受け，各教科で言語活動の充実を図る	言語活動の向上を問う問題が，各教科のテストでなされているか	各教科のテスト問題を事前に学力向上チームでチェック						
2	豊かな心	自立心と責任感の育成を目指した協働活動	学校祭体育の部における色別縦割り集団作り	生徒アンケート	生徒アンケートから色別縦割りが楽しかったという回答が多数を占	⇒	・体育の部では，他学年の競技を応援する姿が見られた。 ・朝や放課後，部活動で清掃を行うことで，地域からも評価をいただいている。 ・担任以外も道徳の授業を実践。教材，指導案を学校で共有。	・体育の部の色別競技は3年目である。生徒アンケートからも継続して欲しい意見が多かった。 ・生徒だけでなく地域，保護者を巻き込んでの活動を計画している。 ・道徳教材を学校全体で整理，保管，体系化していく。	⇒	・清掃が行き届いている。特にトイレはきれいに使用している。 ・地域の清掃についてはすこぶる好評である。 ・学校を訪問したときに生徒がしっかりと『挨拶』してくれるのは大変良いことだ。	・地域清掃を地域住民と一緒に行う取り組みを企画してはどうでしょうか。
		地域との信頼関係を大切にし，地域ぐるみの教育	朝や放課後の時間帯，部活動を中心に学校周辺の美化活動を行う	学校周辺清掃状況	朝は毎日清掃活動を行い，生徒登校時落ち葉ゴミ等がない状態であ						
		道徳的実践力を養う	道徳的実践力や人権尊重を規範とする行動力を養う	道徳教育全体計画の実施状況	道徳教材，指導案を全教員で共有，担任以外の道徳指導						
3	健やかな体	健康で安全な生活を営む能力や態度を育てる	食教育講座の開催	生徒の感想文	多くの生徒の感想の中から，食と自分の体の関係の理解が見られた	⇒	・1年生を対象に食教育講座を開き，食生活と生活習慣を理解させることができた。 ・23年生を対象にし，夏季休業中の問題行動抑止に効果があった。	・生徒だけでなく，保護者啓発にも努めていく。 ・家庭教育学級において，生徒指導課から，保護者啓発の講演を行った。	⇒	・給食弁当制度があるので，昼食を確実に確保することは大変良いことだ。 ・夏季パトロール等で中学生が夜間徘徊する等の話は全く無かった	・パトロールだけでなく，普段から地域からの声に耳を傾けて校区の様子を的確に把握する必要がある。
		生徒の命を守り育む教育の推進	防煙教室の開催 非行防止教室の開催	生徒の感想文	多くの生徒の感想の中から，自ら問題行動を抑止する意思が見られ						
4	独自の取組	小中9年間を見通した取り組みを計画的に推進	小中合同授業研究 出前授業の実施	教職員アンケート	お互いの授業を研修することで共通理解が図れた（計画の3分の1実	⇒	・小中連携の教職員グループを3つに分け，それぞれのグループで相互研修を図っている。 ・学校生活のあらゆる場面を情報発信することで，保護者や地域の信頼を得ている。 ・中学生が地域の中で地域の小学生の見本となり自己有用感を感じさせる。 ・学校生活のあらゆる場面を情報発信することで、保護者や地域の信頼を得ていると考える。	・11月に小学校への出前授業を計画している。 ・学校HPで保護者が望んでいる情報を，より精選，より積極的に発信していく。 ・限られた部活動からより多くの部活動に活動の輪を広げていく。 ・例年の流れに満足せず、取捨選択しながら新たな取り組みを模索、検討していく。 ・HPで保護者が望んでいる情報を、より精選、より積極的に発信していく。	⇒	・小学校時に落ち着きのない生徒も中学校では指導の範疇に入っている。 ・地域でのいろいろなこえはあるが，ほとんどは学校に協力的な声である。	・地域からの声を学校評議委員が中心になって学校に伝えていく。
		家庭・地域との信頼関係を大切にする	情報発信の充実	学校HPの更新状況	日々，学校HPを更新し，保護者の期待も高い						
		地域との連携強化	地域団体の主催する行事に積極的に参加する地域の小学生と中学生のコラボレーション	地域からの声	地域のまつりに小学校の吹奏楽部と中学校の吹奏楽部のコラボで参加し，少年野球チームと野球部の生徒が合同で女子プロ野球選手の指導を受け，サッカー部が地域のサッカー少年団と合同練習を行う						